

戦争準備・大軍拡NO!! 日本政府は禁止条約の署名・批准を 6月1日(木)太地町集会・2023年原水爆禁止国民平和大行進



増田さん 山田さん

宇佐川太地町教育長 杉岡さん

太地町での平和行進

6月1日(木)雨。平和行進は太地町に入りました。集会前、増田弘新宮東牟婁原水協事務局長と県事務局で総務課秘書係を訪問。町長と議長からのペナントと協賛金を受け取ります。

小雨が降っている中、太地町公民館を借りての出発集会です。増田弘さんが進行します。最初、地元代表・太地ともしび会の山田秋生さんの挨拶です。「日本は唯一の戦争被爆国であり、原子爆弾が広島、長崎に投下され78年になります。被ばくした人々の苦しみは長々と続きました。その中で被ばく者の方々や世界の人々や国連の尽力により、核兵器禁止条約が2021年に発効しました。しかし、日本は参加できていません。最近、広島で行われたG7サミットでは核兵器廃絶に前向きな動きをどう作るのか注目されましたが、核兵器のない世界は究極の目標と先送り、核抑止力論に固執しました。国際条約として確立している核兵器禁止条約には一言も言及しません。岸田政権は、戦争被爆国の日本の政権を資格はあるのですか。北東アジアから平和に貢献できるように、政府に訴えるとともに活動を大きく広げていきたい。」続いて、太地町宇佐川教育長は「20年前に子ども達を広島の資料館に連れていった時、子どもがこんな句を作りました。『平和どけい 今も世界を かん視中』今年の太地町カレンダーに掲載しました。なかなか状況は前進できていませんが、少しずつでも平和を願う声をあげていきたい。」と挨拶されます。県実行委員会からは「5月8日橋本市を出発、太地町まで700人以上が集会、行進に参加しています。平和行進では、戦争準備・大軍拡NO!!日本は禁止条約に参加せよと県民にアピールして歩いています。」と報告。わかやま市民生協杉岡龍一さんの決意表明のあと、紀南労協岸本芳明さんが集会アピールを読み上げます。最後、全員で「青い空は」を合唱。(集会参加者34人)。町職員も多数頂きました。雨の中を平和行進が出発します。公民館前から太地町内の路地を抜け太地町漁協前を歩いて、公民館駐車場に戻ってきました。

本日の平和行進は、古座川町、串本町になります。

県事務局務局